岡山県巫女特別協力資料の全資料の参考文献

平成 23 年 7 月 6 日
岩崎が「『旧派歌道・歌学の流派・家元・団体の総覧』の参考文献」として本資料を起筆
平成 25 年 4 月 28 日　公開
令和元年 6 月 2 日
著作権法および『岩崎純一全集』第 6 巻に基づき、協力者の著作部分に係る著作権の全部の岩崎への譲渡が完了したことをもって、最も早期からの作成資料『旧派歌道・歌学の流派・家元・団体の総覧』の名称を『日本旧派歌道流派総覧』に変更し、かつ本資料も現在の名称に変更し、総覧を母体として、本資料を含むその他の資料と合わせた『岡山県巫女特別協力資料』を設置
令和元年 8 月 16 日　最終更新

編　岩崎純一

編纂総本部　岩崎純一学術研究所（IJAI）
https://iwasakijunichi.net/

これらのほか、別掲の「岩崎純一私蔵利用図書目録」および「岩崎純一私蔵貴重図書目録」に掲載した全ての書籍が参考文献である。後者は、巫女、社家子女、歌道家子女らから岩崎に譲渡された書籍を含む。

直接引用した文献については、資料中に記載した。

§　書籍

『会津戦争全史』　星亮一　講談社　2005
『秋田人名大事典』　秋田魁新報社　1974
『朝日　日本歴史人物事典』　朝日新聞社　『摂関時代文化史研究』　関口力　思文閣史学叢書　2007
『井笠路探訪』　井笠広域観光協会編刊　2000.4
『出雲地域の学問・文芸の興隆と文化活動』　いづも財団、出雲大社御遷宮奉賛会　編　2018
『伊那歌道史』　村沢武夫　国書刊行会　1973
『今川氏と観泉寺』「今川氏とその学芸」　井上宗雄　『御歌所の研究』　恒川平一　還暦記念出版会　1936

『伊予歌人録』 曽我部一郎編 伊予史談会 1942
『江戸期おんな考』 桂書房 1990-2004
『太田垣蓮月』 杉本秀太郎 初版淡交社 桐葉書房 新版 2004
『岡山県通史』 上下巻 永山卯三郎 岡山県通史刊行会 1971
『海外邦字新聞雑誌史』 蛯原八郎 復刻版 名著普及会 1980
『華族―近代日本貴族の虚像と実像』 小田部雄次 中央公論新社 2006
『華族家の女性たち』 小田部雄次 小学館 2007
『鎌倉遺文研究 2 鎌倉時代の社会と文化』 鎌倉遺文研究会 東京堂出版 1999
『鎌倉遺文研究 3 鎌倉期社会と史料論』 鎌倉遺文研究会 東京堂出版 2002
『京都冷泉家の八百年 和歌の心を伝える』 冷泉為人編 日本放送出版協会 2005
『近世歌学集成』 近世和歌研究会 明治書院 1997-1998
『近世京都出版文化の研究』 宗政五十緒 同朋舎 1982
『近世後期の福山藩の学問と文芸』 福山市立福山城博物館編刊 1996.4.6
『近世古今伝授史の研究 地下篇』 日下幸男 新典社 1998
『近世史研究叢書(2) 近世の朝廷運営 ―朝幕関係の展開―』 久保貴子 岩田書院 1998
『近世大名文芸圏研究』 渡辺憲司 八木書店 1997
『近世和歌史の研究』 神作研一 角川学芸出版 2013
『近世和歌の世界』 柳瀬万里・村上明子 桜楓社 1989
『近代文学研究叢書』 昭和女子大学光葉会 昭和女子大学近代文学研究室編 1959
『熊野三山と熊野別当』 阪本敏行 清文堂出版 2005
『熊野修験』 宮家準著 日本歴史学会編 吉川弘文館 新装版 1996
『月刊 歴史読本』 新人物往来社
『血風ペリリュー島―この闘魂を見よ!』 船坂弘 叢文社 1981
『源氏物語研究史』「河内家の人々 光行・親行・知行・素寂」 重松信弘 風間書房 1961
『國史大辭典』 吉川弘文館 1979-1997
『言の葉乃花 小林重道歌集』、小林重道 1965.11.6
『後鳥羽院政の展開と儀礼』 谷昇 思文閣出版 2010
『彩雲会五十周年記念歌集 花百彩』 彩雲会 1965
『社家文事の地域史』神社史料研究会叢書 棚町知彌 橋本政宣 思文閣出版 2005
『紹巴富士見道記の世界』 内藤/佐登子 続群書類従完成会 2002
『植民地朝鮮の日本人』 高崎宗司 岩波書店 2002
『女流著作解題』 女子学習院 東出版 1997
『真実の川島芳子―秘められたる二百首の詩歌』 川島芳子著・穂苅甲子男編集 川島芳 子記念室設立実行委員会 2001
『神社辞典』 白井永二・土岐昌訓 東京堂出版 新装普及版 1997
『真宗山元派本山證誠寺史』 橋本政宣（監修）本山證誠寺史編纂委員会（編集）本山證 誠

寺 2007
『新訂増補国史大系』 吉川弘文館 1929-1964
『神道辞典』 安津素彦・梅田義彦　堀書店 1968 および神社新報社 2000
『神道事典』 國學院大學日本文化研究所編 弘文堂 1999
『新日本古典文学大系』　岩波書店　2005
『新編国歌大観』 KADOKAWA 1983-1992
『図説 人口で見る日本史』 鬼頭宏 PHP 研究所 2007
『世界大百科事典 2007 年版』 加藤周一ほか 平凡社 2007
『大日本人名辞書』 合名会社 経済雑誌社出版 1909（明治 42）年 6 月第 6 版
『台湾人と日本精神(リップンチェンシン)―日本人よ胸を張りなさい』 蔡焜燦 日本教文社 2000
『高崎正風先生伝記』 北里闌 啓文社印刷工業 1959
『中世歌壇史の研究（室町前期）改訂新版』 井上宗雄 風間書房 1984
『中世近世和歌文芸論集』 日下幸男 思文閣出版 2009
『朝鮮の詩ごころ―「時調(シジョ)」の世界』 尹学準著・田中明翻訳 講談社 1992
『動乱の中の王妃』 李方子 啓佑社 1984
『ドキュメント 世界に生きる日本の心―二十一世紀へのメッセージ』 名越二荒之助 展転社 2003
『流れのままに』 李方子 講談社 1968
『梨本宮伊都子妃の日記―皇族妃の見た明治・大正・昭和』 小田部雄次 小学館 1991
『浪華の歌人』 木村三太郎 全国書房 1943
『奈良時代諸氏族の研究―議政官補任氏族』 高島正人 吉川弘文館 1983
『奈良朝の政治と藤原氏』 野村忠夫 吉川弘文館 1995
『日本近代短歌史の構築―晶子・啄木・八一・茂吉・佐美雄』 太田登 八木書店 2006
『日本古代政治史研究』 岸俊男 塙書房 1966
『日本古代中世人名辞典』 平野邦雄・瀬野精一郎 吉川弘文館 2006
『日本古典文学全集』　小学館　1976
『日本古典文学大系』　岩波書店　1967
『日本神道史』岡田荘司　吉川弘文館　2010
『日本女子用文』 佐佐木信綱 博文館 1892
『日本随筆大成 第 1 期』第 1 巻「羈旅漫録」滝沢馬琴 日本随筆大成編輯部 吉川弘文館 1975 『姓氏家系大辞典』 太田亮 角川書店 1963
『日本中世内乱史人名事典』 佐藤和彦・錦昭江・松井吉昭・樋口州男・鈴木彰・櫻井彦 新人物往来社 2007
『日本巫女史』 中山太郎 国書刊行会 2012
『評伝 森鴎外』 山■國紀 大修館書店 2007 （■は山ヘンに立の下に可）

『備後先覚者名鑑（郷土を創った人々）』 村田露月・式見静夫編 備後文化出版社 1960
『福山の碑』「堤より 小林重道の歌碑」 三上勝康 福山市文化財協会刊 1975.11.10
『藤原式家官人の考察』 木本好信 高科書店 1998
『平安後期歌人伝の研究 増補版』 井上宗雄 笠間叢書 1988
『平安時代史事典』 角田文衛監修 角川書店 1994
『平安の宮廷と貴族』 橋本義彦 吉川弘文館 1996
『平成新修旧華族家系大成』 霞会館華族家系大成編輯委員会 霞会館 1996
『箕輪町誌歴史編』 箕輪町誌編纂刊行委員会 1986
『名媛の学生時代』 中島益吉編 読売新聞社 1907
『名家伝記資料集成』 森繁夫他 思文閣出版 1984
『明治維新人名辞典』 日本歴史学会 吉川弘文館 1981
『明治・大正・昭和 華族事件録』 千田稔 新人物往来社 2002
『明治大正短歌資料大成』 小泉苳三 立命館出版部 1975
『明治のお嬢さま』 黒岩比佐子 角川学芸出版 2008
『名族大内氏の盛衰』 利重忠 新人物往来社 1993
『遊鬼―わが師わが友』 白洲正子 新潮社 1998
『和学者総覧』國學院大學日本文化研究所編 汲古書院 1991
『和歌大辞典』 犬養廉 明治書院 1986
『図説 和歌と歌人の歴史事典』 井上辰雄編 遊子館 2010
『和歌文学大辞典』 伊藤嘉夫 明治書院 1962
『和歌六人党とその時代―後朱雀朝歌会を軸として』 高重久美 和泉書院 2005

§ 論文

「熱田神宮遷宮竟宴和歌とその背景--資料と研究」 辻村全弘 儀礼文化（40), 70-87, 2009-03
「家隆假託書の檢討：「和歌知顯集」「和歌口傳抄」をめぐって」 三輪正胤 大阪府立大 学紀要, 人文・社会科学（16), 121-136, 1968-03
「一徳会成立の趣意」 高崎正風 『史談会速記禄』 1908.8
「伊那谷の文化と長谷川喬村」 村沢武夫編 長谷川喬村顕彰会 1971.12
「今井邦子と「明日香」」 野々山三枝 昭和女子大学近代文化研究所 学苑（615), 77-86, 1991-01
「卜部兼好伝批判-［兼好法師］から［吉田兼好］へ」 小川剛生 『国語国文学研究』49号、熊本大学文学部（2014）及び同訳注『徒然草』角川ソフィア文庫（2015）
「詠歌論」 佐々木健 『女学雑誌』第 98 号、1888・2・25

「御歌所長高崎正風の教育勅語実践運動 ―彰善會と一德會―」 明治聖徳記念学会紀要〔復刊第 46 号〕2009.11
「大八洲学会設立之趣意」『大八洲学会雑誌』巻之一、1-2 頁 1886
「歌人としての賀古鶴所:「鴎外の親友」の文学的素養」 島内景二 電気通信大学紀要 16(1), 55-82, 2003-07-31
「歌道--代々一流の歌人を輩出し続けた歌道家盛衰の千年史（古典芸能の名家・名門)」 寺島修一 歴史読本 53(10), 120-125, 2008-10 新人物往来社
「歌道宗匠家と富小路貞直・千種有功--近世中後期堂上歌壇の形勢（近世詩歌の新展望)」盛田帝子 国語と国文学 88(5), 35-48, 2011-05 ぎょうせい
「「旧派」の行方 ： 大日本歌道奨励会の形成から衰退まで」 松澤俊二 国語と国文学 89(3), 52-68, 2012-03 明治書院
「近世期津守家の歌道 津守国礼と柿葉亭喜始」 管宗次 武庫川女子大学紀要. 人文・社 会科学編 49, 74-66, 2001
「近世和歌御会における女性の詠進復活に関する一考察」 坂内泰子 国語と国文学 66(3) 東京大学国語国文学会編 1989-03
「近世和歌の地方発展--杉浦家和歌会と県居門の作家活動」 田林義信 短歌研究 1973-74
「九条武子略年譜（憂愁の歌人・九条武子<特集>)」 野々山三枝 短歌 38(6), 186-189, 1991-06 角川書店
「元禄-享保期の熱田歌壇と香川宣阿」 神作研一 東海近世 18 号. 10-30 (2009), 1
「後期富士谷学派の歌道についての基礎的研究 ：『結脚抄師説』『挿頭抄師説』の検討」 但馬貴則 人文論究, 48(2), 1998-09
「古今伝授について ： 細川幽斎所伝の切紙書類を中心として」 川瀬一馬 青山學院女子 短期大學紀要 15, 71-96, 1961-11
「国体と歌道」 關以雄 『女鑑』第 6 号、1892・1・5
「金勝慶安加点詠草」 神作研一 金城学院大学論集 人文科学編 第 3 巻第 2 号
「西行和歌の原風景についての一試論--遊女・歩き巫女・比丘尼の歌文化との関わりをめぐって」 平田英夫 藤女子大学国文学雑誌 82, p1-p11, 2010
「聖護院門跡と「門下」 ： 一五世紀を中心に」 近藤祐介 学習院大学 研究年報 57, 1-27, 2010
「将来の和歌（一)・(二)」 『女学雑誌』 第 134・136 号、1888・11・3、17
「植民地期朝鮮における日本人移住者の文学 ー文学コミュニティの形成と「朝鮮色」「地方色」 」 楠井清文 立命館大学 ART RESEARCH vol.10 2010-03
「〈女性作家〉と〈国民〉の交差するところ ― 一葉日記を読む ―」 菅聡子 『お茶の 水女子大学 人文科学紀要』第 56 巻、2003
「「神祇管領長上」考 ： 室町期の吉田家と神祇官」 井上智勝 『宗教研究』78(1)、日本宗教学会、2004 年、 71-94 頁

「『新和歌集』 成立時期小考」 中川博夫 慶應義塾大学国文学研究室 三田國文 (6), 80-86, 1986-12
「続 熱田神宮遷宮竟宴和歌とその背景 ： 資料と研究」辻村全弘 儀礼文化 (43), 52-69, 2012-03
「大学における伝統・文化教育」 得能弘一 和文化教育研究紀要 第 5 号、2011-03
「高崎正風歌論の変質 ―流派と模倣に対する意識―」 長福香菜 表現技術研究 2010
「津守国美歌集『和歌明津集』」 管宗次 すみのえ 211, 212, 214 1994
「中島歌子と樋口一葉」 青木一男 城西大学女子短期大学 Bulletin, Josai University Women's Junior College 9(1), 1-17, 1992-01
「二条派をめぐっての一考察」 土田将雄 上智大学国文学論集 9, 1-21, 1976-01-10
「日本統治下の台湾における日本語教育と短歌 ―孤蓬万里編著『台湾万葉集』の考察―」 河路由佳
「〈日本文学研究の多様な視点〉移（住）民文学の成立可能性とその展望―韓国の場合を中心に―」 許錫 『日本語文学』 2006 年 9 月
「林信海と萩 ： 雅号の由来と中島歌子について」 水野惠子 流通経済大学流通情報学部 Journal of the Faculty of Distribution and Logistics Systems, Ryutsu Keizai University 7(2), 1-13, 2003-03
「樋口一葉と天皇 ―〈和歌〉を視座として」 菅聡子 お茶の水女子大学「魅力ある大学 院教育」イニシアティブ人社系事務局 「対話と深化」の次世代女性リーダーの育成 ：「魅 力ある大学院教育」イニシアティブ Vol.平成 18 年度活動報告書 ： 海外研修事業編 p.329 -333
「樋口一葉と〈和歌〉」 浅田徹ほか編『和歌をひらく第五巻 帝国の和歌』岩波書店、2006
「風雅和歌集の復権 ： 江戸冷泉派歌論断章」 久保田啓一 Studies in Japanese literature 25, 127-137, 1989-11-01
「風観斎追悼和歌」 日下幸男 國文學論叢 57, 70-97, 2012-02-01
「武家歌人源頼政論」 上条彰次 静岡女子大学研究紀要 (18), p312-299, 1984
「藤井高尚と鐸屋--後期国学の一断面」 藤井芙紗子 国語国文 46(12) 京都大学文学部国語学国文学研究室編 1977-12
「富士谷御杖の初期の歌道が目指したもの ：『歌道非唯抄 稿本』の学説の検討から」但 馬貴則 大阪産業大学論集. 人文科学編 116, A1-A11, 2005-06-30
「富士谷御杖の初期の歌道における成章学説継承について ：『多南辨乃異則 』の書名の問題から」 但馬貴則 日本文藝研究 52(2), 21-36, 2000-09
「宝暦十二年江戸冷泉派の点取和歌(上)」 久保田啓一 国文学攷 no.154 page.17-27 (19970630)
「宝暦十二年江戸冷泉派の点取和歌(下)」 久保田啓一 国文学攷 no.155 page.1-14 (199709)

「源頼家伝考 ―和歌六人党の成立をめぐって―」 増淵勝一 立正女子大学短期大学部 研究紀要 16, 18, 1972-12, 1974-12

§ その他の参考資料・ウェブサイト

明治四年太政官布告第二三四・二三五号
明治六年一月十五日教部省達第二号　梓巫市子並憑祈祷孤下ケ等ノ所業禁止ノ件
宮内庁ウェブサイト http://www.kunaicho.go.jp/culture/utakai/utakai.html
国立公文書館 アジア歴史資料センター http://www.jacar.go.jp/
『宗教年鑑』（最新のもの及び全てのバックナンバー）
http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/hakusho_nenjihokokusho/shukyo_nenkan/
公卿類別譜 http://www.geocities.jp/okugesan_com/
Reichsarchiv ～世界帝王事典～ http://reichsarchiv.jp/
波流能由伎　大伴家持の世界（水垣久氏）　http://www.asahi-net.or.jp/~sg2h-ymst/
やまとうた（水垣久氏）　http://www.asahi-net.or.jp/~sg2h-ymst/yamatouta/
江戸さい子の歌集「にひしほ」と足跡 http://www9.atpages.jp/edosaiko/index.php
名字由来 net　https://myoji-yurai.net/

§ 新聞

西日本新聞 2008/02/08 夕刊